

# 令和元年度西成区運営方針自己評価 説明用資料

令和2年度第1回西成特区構想部会

令和2年8月6日

令和元年度 重点的に取り組む主な項目のうち西成特区構想部会該当項目

経営課題		戦略	具体的取組
2	にぎわいと コミュニティ が生まれる まちづくり	1. 地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化	1. 地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業
			2. 西成区魅力発信事業
		3. 地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり	1. 西成版サービスハブ構築・運営事業
2. 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業			
3. 単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業			
4	あいりん地域 対策	1. あいりん地域環境対策	1. 不法投棄対策
			2. 迷惑駐輪対策
		2. あいりん地域を中心とした結核対策	1. 結核健診の拡充による患者の早期発見・早期治療
			2. 結核患者の支援の充実

## 経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

# 具体的取組2-1-1 地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業

30予算額	0千円	元予算額	14,263千円
-------	-----	------	----------

目標	目標値	結果
本事業の参加者へのアンケートで、西成区に魅力を感じたと答えた割合	70%以上	74.3%

達成

### 取組実績

- にぎわい創出のためのフォーラムを8月、9月、12月に3回開催
- 新今宮フェスティバルを10月から11月に9日間開催、参加者数約6400人
- 空き店舗などの改修費用の一部補助制度の創設を行い、8月、9月に申請受付を行い1件の補助決定を行った。



フォーラムの開催



新今宮フェスティバルの開催

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり  
**具体的取組2-1-2 西成区魅力発信事業**

30予算額	1,271千円	元予算額	1,731千円
-------	---------	------	---------

目標	目標値	結果
区のイベント等の参加者や区内の宿泊者等へのアンケートにより、区内の歴史的な名所などを知っていると答えた割合	50%以上	55.7%

達成

**取組実績**

- 「西成しごと探偵団」を実施
- 観光マップの外国語版の作成  
英語・中国語(簡体字):各1,500部
- 小学校への出前授業の実施、マップを掲載したクリアファイル作成、「にしなり銭湯スタンプラリー」実施、マップのJR新今宮駅配架など
- SNS発信回数 40回以上



西成しごと探偵団



外国語版観光マップ



出前授業



クリアファイル

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

## 具体的取組2-3-1 西成版サービスハブ構築・運営事業

30予算額

0千円 元予算額

19,256千円

目標	目標値	結果
課題解決に向けた具体的事例の検討件数	100件	59件

未達成

### 取組実績

- ・ 居場所提供(月曜日～土曜日、約200日)
- ・ 就労支援(同上)
- ・ 就労やボランティア先の開拓(随時)

### 課題と改善策

- ・ 今年度は、あいりん総合センター閉鎖の影響により、事業実施準備等に時間を要し、事業開始が予定よりも1か月間遅くなった。
- ・ 事業に関するノウハウが蓄積されていないため、利用者の選定や委託先事業者との調整等に時間を要した。
- ・ 来年度は、4月から切れ目なく事業を継続できるように、着実に準備を進めることとする。
- ・ 今年度事業の実施によって得られた成果に基づき、マニュアル等を作成し、効率的に利用者の選定等を進めることができるようにしていく。



経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

## 具体的取組2-3-2 地域における要援護者の 見守りネットワーク強化事業

30予算額	28,689千円	元予算額	28,287千円
-------	----------	------	----------

目標	目標値	結果
・地域へ提供した西成つながり名簿の更新	・全16地域	・更新16地域
・認知症高齢者の事前登録者数 ・発見協力者の登録者数	・新規登録50件以上 (年度末登録150件以上) ・新規登録30件以上 (年度末登録320件以上)	・新規登録73件 (年度末登録172件) ・新規登録28件 (年度末登録275件)
見守りフォーラムなどの参加者に対するアンケートで地域における見守り活動に関わっていくことが必要だと感じている割合	60%以上	66%

未達成

### 取組実績

- ①要援護者名簿提供にかかる郵送及び訪問による同意件数8,726件(対象者14,888件)
- ②見守り相談室への相談件数1,915件
- ③認知症高齢者の事前登録者新規73人、行方不明時の発見協力者登録新規28件

## 具体的取組2-3-2 地域における要援護者の 見守りネットワーク強化事業【続き】

### 課題と改善策

- 行方不明時の発見協力者登録(個人)については、民生委員児童委員であることが条件となっており、今回、民生委員児童委員の改選により、退任された方が減となった。また、新型コロナウイルス感染症の影響で会議や研修が開催されなかったことで、新任民生委員児童委員に対して周知が十分できなかった。
- 新年度以降開催される各地区民生委員児童委員協議会の会議や研修会等で、民生委員児童委員に対して周知を行うことにより協力を求めていくことで行方不明時の発見協力者の登録を増やしていく。

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり  
**具体的取組2-3-3 単身高齢生活保護受給者の  
 社会的つながりづくり事業**

30予算額	12,885千円	元予算額	12,881千円
-------	----------	------	----------

目標	目標値	結果
「社会的なつながりができた、生活が改善した」と感じている利用者の割合	70%以上	社会的つながりができたと感じる:35% 生活が改善したと感じる:60%

未達成

**取組実績**

- あいりん地域の単身高齢生活保護受給者に対する社会貢献プログラム等の提供(毎日)
- あいりん地域の単身高齢生活保護受給者に対する金銭・服薬管理等に関する支援(随時))



草刈りのボランティア活動



見守りを兼ねた健康相談

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

## 具体的取組2-3-3 単身高齢生活保護受給者の 社会的つながりづくり事業【続き】

### 課題と改善策

- 事業開始から7年が経過し、長年にわたって事業を利用している者も多く、新たに「社会的つながりができた、かつ、生活が改善した」と感じるようになる利用者が減少している。そのため、今後は、新規利用者をさらに増やしていくための工夫が求められる。
- いわゆる居場所機能を強化し、気軽に立ち寄ることができる場所にしていくとともに、事業におけるプログラムの内容を見直し、より広範囲の方が、気軽に参加できるようなプログラムを増やしていく。これにより、「社会的つながりができた」「生活が改善した」と感じるようになる余地が大きい、新規の利用者を増やしていくこととする。

## 経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり 自己評価のまとめ

### ◇地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化

- 区民や区のイベント参加者が「西成区の地域資源を活かした取組みが、にぎわい創出やまちの活性化につながっている」と感じる割合は高い。今後は西成区のイメージを向上するプロモーションの充実をはかり、さらに新たなにぎわいを創出して、地域の活性化につなげる必要がある。

### ◇地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

- 「単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業」「西成版サービスハブ構築・運営事業」の2事業は、ともに、支援の過程を通じて、生活保護受給者を就労や社会貢献などにつなげ、社会への再包摂を果たしていくことを目的としており、数値目標には達しなかったものの、この目的は一定程度、果たすことができているものと評価できる。もっとも、今後、さらに裾野を広げ、新たな利用者確保などに努めていく必要がある。
- 「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」については、民生委員児童委員の改選の影響もあり、一部目標未達成となったものの、西成つながり名簿の更新や、見守りフォーラムの開催など、きめ細やかな見守りネットワークの実現に向けて取組みを行った。今後は、新たに策定した西成区地域福祉計画のもと、地域の関係者とも連携をしながらネットワークの強化に努めていくこととする。

## 経営課題4 あいりん地域対策

### 具体的取組4-1-1 不法投棄対策

30予算額

166,882千円

元予算額

147,066千円

目標	目標値	結果
・街路・公園への不法投棄量の削減	街路: 前年度以下 公園: 前年度比20%減	街路: 前年度比6.7%減 公園: 前年度比65.1%減

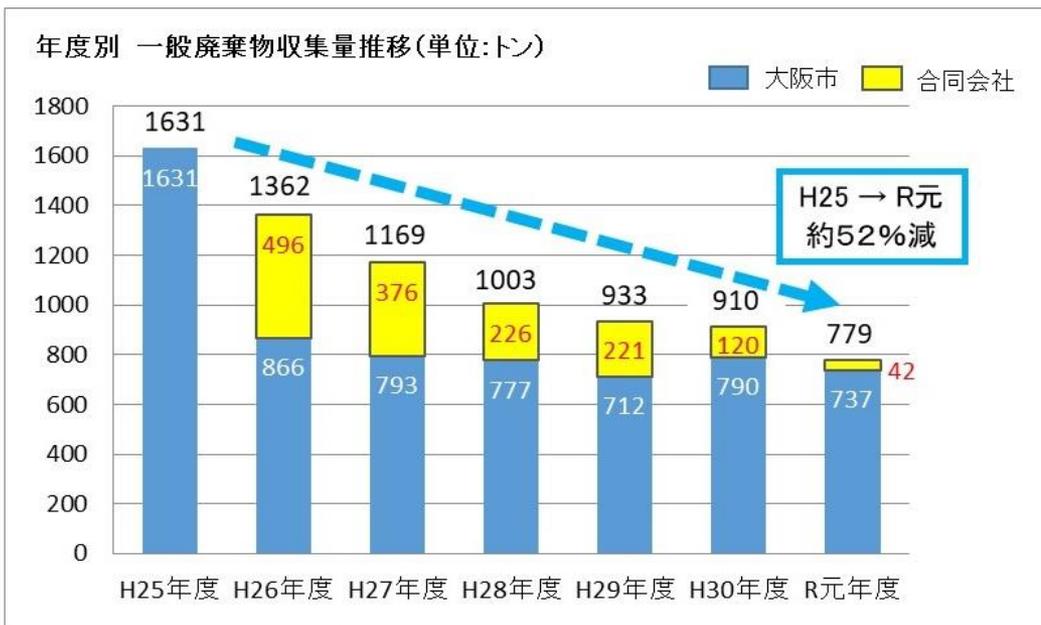
達成

#### 取組実績

- ・不法投棄防止を目的とした巡回  
(毎日14時～翌6時)
- ・公園への不法投棄を防止するため、啓発拠点を設置し、家庭ごみの排出ルールなどの啓発  
(毎日6時～14時)
- ・生活保護世帯へのごみの出し方チラシの送付 約22,000枚

**【一般廃棄物】  
不法投棄  
ごみ収集量**

令和元年度  
779トン  
H29年度比:52%減  
H30年度比:14%減



## 経営課題4 あいりん地域対策

### 具体的取組4-1-2 迷惑駐輪対策

30予算額	4-1-1に含む	元予算額	4-1-1に含む
-------	----------	------	----------

目標	目標値	結果
あいりん地域内の迷惑駐輪台数	平成30年度目標台数の2,000台を維持	令和2年3月 2,157台

#### 取組実績

- ・地域内自転車置場(約1,120台)の清掃及び整理整頓を実施(随時)
- ・長期間放置自転車への啓発エフ取り付け(308日)
- ・長期放置自転車の撤去(1,455台)

未達成

#### 課題と改善策

- ・9月～11月の間、撤去自転車保管場所が整備工事により使用できず、長期放置自転車の撤去作業を予定どおり行うことが出来なかった影響を受け、12月調査では迷惑駐輪台数が増加する結果となったが、12月以降撤去作業を再開し、3月調査では2,157台まで減少した。
- ・撤去を再開した12月以降は、迷惑駐輪台数は減少していることから、令和2年度についても、引き続き定期的な長期放置自転車の撤去を行いながら、啓発や自転車置場の利用促進を行い、迷惑駐輪の減少を図る。

## 自転車置場の整備状況

南海新今宮駅南高架下自転車置場  
完成年度:平成27年度  
収容台数:約300台



南海新今宮駅南高架下自転車置場

住吉神社前通線自転車置場  
完成年度:平成29年度～30年度  
収容台数:約270台



住吉神社前通線自転車置場

尼崎平野線南側自転車置場  
完成年度:平成28年度  
収容台数:約30台

阪堺線西側自転車置場  
完成年度:平成28年度  
収容台数:約300台

三角公園南側自転車置場  
完成年度:平成26年度  
収容台数:約60台



# 具体的取組4-2-1 結核健診の拡充による患者の 早期発見・早期治療

30予算額	19,121千円	元予算額	20,900千円
-------	----------	------	----------

目標	目標値	結果
西成区で実施する結核健診(本館・分館・あいりん健診・地域健診等)受診者数	8,900人以上	7,681人

未達成

## 取組実績

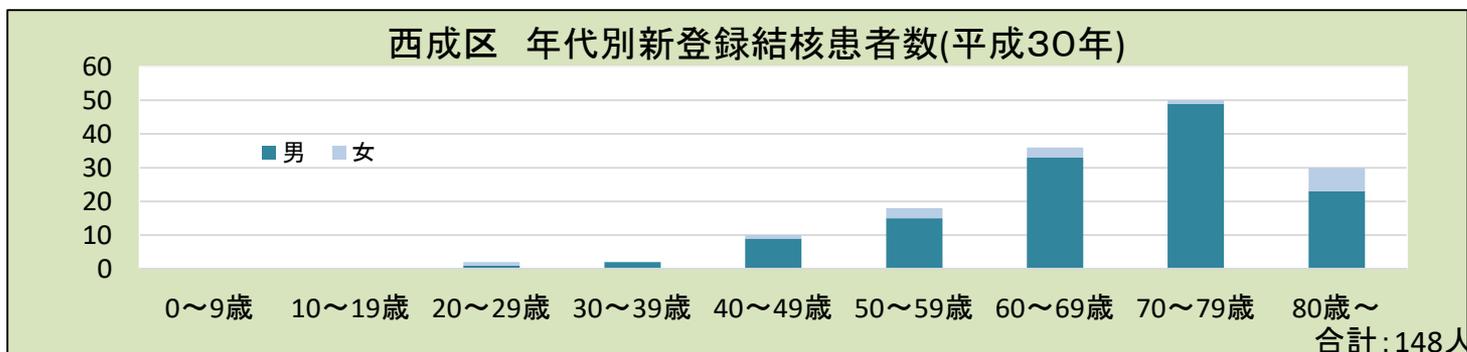
- ・西成区保健福祉センターでの健診を月17日程度実施
- ・あいりん地域内健診を45回(内、夜間2回)実施
- ・西成区内医療機関での健診42カ所委託実施
- ・検診車による地域健診を7カ所実施

### ■西成区で実施する結核健診受診者数

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受診者数(人)	9,409	8,678	9,045	8,761	7,948	7,681

## 課題と改善策

- 結核健診の中でも、大きなウェイトを占めるあいりん地域内健診(分館含む)の受診者が減少しているが(前年度比▲214件)、これは特掃登録者やホームレスの減少が大きな要因と考える。健診受診者数の増加を図るには、あいりん地域も含めた西成区のあらゆる地域について、健康意識が低く、これまで健診を受けたことがない方々に対して、定期的な健診受診の重要性について理解していただくための啓発が課題である。
- 令和元年度から拡充した、あいりん地域内のアパートへの個別受診勧奨は、健診受診率が比較的高いことから、次年度においてはこのアパート勧奨をさらに強化・拡充していく。また、町会の回覧を利用した勧奨も受診効果を有することが分かったため、次年度は回覧する町会を拡充するとともに、区役所に来庁する区民向けの受診勧奨も随時行うなど、あいりん地域以外の住民についても定期受診につなげ、有症状受診で重症化発見されることのないよう、取組みを進めていく。



## 経営課題4 あいりん地域対策

### 具体的取組4-2-2 結核患者の支援の充実

30予算額	33,937千円	元予算額	34,168千円
-------	----------	------	----------

目標	目標値	結果
新登録肺結核患者の治療失敗・脱落中断割合	3%以下	1.6%

達成

#### 取組実績

- ・あいりんDOTS開始数  
拠点型40名、訪問型15名
- ・あいりんDOTS実施者のつどい月1回開催  
延べ215名参加
- ・「あいりん結核患者療養支援事業」居所確保  
地域内個室39名、地域内大部屋16名利用



あいりんDOTS 拠点型の様子

## 経営課題4 あいりん地域対策

### 自己評価のまとめ

#### 【あいりん地域環境対策】

- 不法投棄ごみ収集量については、順調に減少しており、投棄ごみが散逸していない状態を維持している。迷惑駐輪台数については、予定9月～11月の間、長期放置自転車の撤去を行うことが出来な**か**ったことにより、一時的に増加する結果となったが、撤去開始後は減少傾向となっている。
- また、あいりん地域の住民や関係者へのアンケート結果では「あいりん地域の環境が良くなったと感じる」と回答した割合が87%となるなど、地域住民等が実感できる状態まで改善しており、これまでの取り組みが大きな成果をあげている。

#### 【結核対策】

- ここ数年で罹患率は大幅に減少していることから(2016年:173.1→2019年:99.3(概数値))、これまでの特区による様々な結核対策の効果が表れていると考える。しかしながら、区全体の新登録結核患者数は依然として大阪市の中で一番多いため、結核患者の早期発見につながる結核健診受診の重要性を広く普及啓発していく必要がある。